

地域の社会的な援護を必要とする方への支援 [高年、児童]

高齢者虐待、児童虐待の防止に向けた事業所及び市民に対しての啓発活動

高齢者虐待や児童虐待が増加する中、人権擁護の立場から法人内外に向けて虐待防止への取り組みとして研修会や講演会の開催等の取り組みを行っている。法人内でワーキングチームを結成し、法人全体で虐待防止に対する意識を高めるとともに、事業所向けや市民向けの啓発活動にも努めている。

大阪府

社会福祉法人

晋栄福祉会

〒571-0026 大阪府門真市北島町12-14

TEL：072-887-6540 FAX：072-887-6541

◇法人設立年

昭和54年

◇法人実施事業

①経営施設（事業）数：11施設26事業

②経営施設・事業の種類：

特別養護老人ホーム…3、訪問介護…4、訪問看護…1、通所介護…5、小規模多機能型居宅介護…1、認知症対応型共同生活介護…1、居宅介護支援…5、地域包括支援センター…2、宅老所…1、保育所…3

◇法人の理念・経営方針

[DO FOR OTHERS]

情熱をもち行動する。前進と振り返り、時には回り道も。

よくコミュニケーションをとり連携を。

あらゆる工夫でいろいろな方法で。

すべては地域に住む人々と自らの幸福と福祉のために。

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

ナーシングホーム智鳥、ちどり保育園

【施設種別及び利用定員】

特別養護老人ホーム 50名

保育所 180名

◇活動内容

○活動開始年

平成16年7月

○活動の対象者

地域の高齢者とその家族、住民、介護保険事業所、保育関係者、保護者、民生児童委員、行政

○活動の頻度・時間

・介護保険事業所、一般市民向け講演会 年1回程度

・法人内部向け研修会 年1回程度

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

児童虐待防止法や高齢者虐待防止法が施行されているが、実際には通報をためらったり、虐待かどうかの判断に迷ったり、対処方法が分からないなど、日常での対応に困難が生じる場合が多い。また、虐待の問題が起きていてもどういう状態が虐待であるかが認識されていなければ、見過ごされてしまい、悪化の一途をたどってしまうことになる。

保健、医療、福祉、保育等に携わる者は、虐待を発見しやすい立場にあることから、継続した訓練や教育が必要である。また、一般市民に対して虐待防止に関する知識の普及・啓発を行うことは、虐待の防止や早期発見、早期対応につながると思われる。そこで、法人内各事業所からスタッフを募りワーキングチームを結成した。法人全体で虐待防止に関する意識を高めるとともに、施設職員、サービス事業所、保育や教育関係者、一般市民等、さまざまな立場の人に向けての効果的な啓発のあり方を検討し、研修会や講演会を開催するなど、虐待防止につながる諸事業を行っている。

◇実施内容

高齢者虐待防止活動に関しては、平成16年以降、毎年外部から講師を招き、介護保険事業所向けに基礎から応用までの連続セミナーや講演会等を開催している。法人内部に向けては、事前にアンケートを実施して職員のニーズを把握した上で、施設系、在宅系に職員を分けての研修を毎年行っている。一般市民向けには、平成20年に「あなたを守り家族を支えるがんばらない介護」というテーマで、作家の野原すみれ氏を招いて講演会を開催した。今年は女流講談師の田辺鶴瑛氏を招いて、「講談でナットク！ほっとけ心のあっぱれ介護」と題した講演会を9月に開催した。

児童虐待防止活動については、今年6月に大阪府立大学の山野則子教授を招いて「子どもを支える地域の役割～小さなサインを見逃さないために～」というテーマで講演会を開催し、保育関係者、行政、民生委員・児童委員、地域住民、保護者等の約200名の参加者を集めた。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

研修会や講演会開催の際には、毎回参加者に対してアンケート調査を実施し、意見や希望を把握して理解度や効果を検証している。その結果を次の研修会や講演会の参考にしている。

介護保険事業所の方からは、「意識していないと虐待には気づけない。定期的に研修を受けることにより、見過ごさないで対応するということを学べて、意識を持続できる。」という意見を多くいただいた。「専門的な対応方法よりも、いかに早く気づいて、関係機関に適切につなぐことができるかが大事なのではないか。」という意見もあった。一般市民からは、「密室で行う介護は閉塞感がある。頑張らなくてもいいという話は共感できた。」「講演を聴くことでストレス解消になった。気持ちを少し外に向けることが必要だと分かった。」という意見をいただいた。保育関係者からは、「子育て中の母親をいかに地域で孤立させないようにするか、地域で何かできるかを考えたい。」という意見があった。

いずれの研修会や講演会においても、毎回さまざまな反響がある。

◇今後の展開

高齢者虐待防止における法人内や介護保険事業所向けの啓発について、今後は職員の経験年数等に応じて、習熟度別の研修や類型別の研修の企画が必要である。一般市民向けの講演会等については、当法人事業所の所在地が、兵庫県、大阪府、奈良県にまたがっているため、虐待の現状や地域性の違いに応じた働きかけが必要と考えている。

児童虐待の防止に関しては、支援を必要としている家族を地域で孤立させないようにするためのネットワーク作りが必要である。地域子育て支援センターの機能を活用した、地域への発信を続けていきたい。



講談で
ナットク

**ほっとけ心の
アッパレ介護**

実母、義母、義父—
3人の介護を経験した
女性講師が教えてくれる、
「無理しない」「面白がる」
「スボラ介護」の極意!

入場無料
先着200名

講師
女流講師
田辺 鶴瑛さん

日時
平成22年9月18日(土)
13:00~15:00
鶴見区歯科医師会挨拶 13:00~13:15
鶴見区社会福祉協議会挨拶 13:15~13:30
講演会 13:30~15:00

場所
鶴見区民センター
小ホール

田辺 鶴瑛さん プロフィール
講師、昭和30年北海道南幌市生まれ。18歳の時に実母が病に罹り入院。4年間介護をする。30代で義母を5年間介護。2005年からは義父を自宅で介護している。ホームヘルパー2級。1995年に鶴見の講演会「田辺一鶴に弟子入り、古典に取り組む」ともに、1994年より介護講座を始め、日本全国1000か所以上をまわり、新聞テレビでも大きな話題となる。著書「ほっとけ介護」(主婦と生活社)「びんごんこうりてい、さよう」(文芸社)がある。

■お申し込みお問い合わせは(月~金 10:00~17:00)
社会福祉法人 普栄福祉会 高齢者虐待防止センター TEL.072-881-8201
事務局 ナーシングホーム智島 〒571-0026 大阪府門真市北島町12-3 FAX.072-881-8115
○主催/社会福祉法人 普栄福祉会 ○共催/鶴見区歯科医師会、社会福祉法人 鶴見区社会福祉協議会、協会 ○後援/

◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
高齢者虐待防止講演会ポスター費他	105,000円	法人負担	355,000円
高齢者虐待防止講演会講師料	150,000円		
高齢者虐待防止講演会交通費他	50,000円		
児童虐待防止講演会経費	50,000円		
<合計>	355,000円	<合計>	350,000円

・取り組みにかかわった職員数 延べ30名
(職種等：介護職員、生活相談員、看護師、保育士、ヘルパー)